

発言No. 11

受付No. 6

令和6年2月14日  
8時50分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 19 番

氏名 田畑 敬二

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

能登半島地震から、1ヶ月以上が経過しています。M7.6、最大震度7とされています。死者238人、行方不明者19人、住宅の損壊約40,200戸、交通網の損壊、停電、水道管の損壊による断水等々があります。(2月1日現在)

浜田地震から約150年になりますが、能登半島地震をよそ事と思わず、教訓として、市の防災計画の見直しが必要ではないかと感じます。浜田近辺で同様な地震が発生した場合の市の対応策を伺います。

#### 1. 地震発生時の対応策について

- ① 災害情報(防災情報を含む)の市民への伝達方法はどの様な手法か問う。
- ② 基幹管路の耐震化についての実態を伺う。
- ③ 液状化現象等により道路網が遮断されたときの対応策を伺う。
- ④ 一時避難所の設置基準についての基本的な考えを伺う。
- ⑤ 一時避難所の停電時の対応策について伺う。